処理概要

同一顧客、実績日で重複して作成されているタスク情報を始めに登録された有効データを残し他を削除します。

システム利用者

システム管理者(自動起動)

処理タイミング、その他

処理タイミングは、日次夜間バッチ前

・ステェフロセスフロ 記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、 $(\to \textcircled{1}/\textcircled{1}\to)$ のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



